

## 訂正のお知らせ

2023年12月12日  
株式会社富士テクニカルコーポレーション

「富士テクニカルコーポレーション、凸版印刷へ  
非FIT再エネ電力の供給開始」

「千葉県匝瑳市との共同提案「脱炭素先行地域」に選定」

内容の一部訂正について

2022年11月2日にお知らせしました「富士テクニカルコーポレーション、凸版印刷へ非FIT再エネ電力の供給開始」と2023年11月21日にお知らせしました「千葉県匝瑳市との共同提案「脱炭素先行地域」に選定」の内容につきまして、一部誤りがございましたので、下記の通り訂正させていただきます。

### 【訂正箇所】

《富士テクニカルコーポレーション、凸版印刷へ非FIT再エネ電力の供給開始》

本文12行目

「関東や東北を中心に約120メガワットの施工実績があり、」

誤) 約120メガワット → 正) 約200メガワット

《千葉県匝瑳市との共同提案「脱炭素先行地域」に選定》

本文13行目

「関東や東北を中心に約130MWの施工実績があり、」

誤) 約130MW → 正) 約200MW



2022年11月2日  
2023年12月12日(赤字下線部修正)  
株式会社富士テクニカルコーポレーション

## 富士テクニカルコーポレーション、凸版印刷へ非FIT再エネ電力の供給開始

このたび、株式会社富士テクニカルコーポレーション(以下、富士テク)は、凸版印刷株式会社(以下、凸版印刷)へ非FIT再エネ電力の供給を開始します。

本事業は、富士テクが所有する太陽光発電所で発電された再エネ電力を凸版印刷へ供給するオフサイトコーポレートPPA<sup>注1</sup>です。凸版印刷は電力需給に関わるインバランス業務と電力小売事業を担い、トッパングループの工場やビルなどで再エネ電力を利用します。

従来の太陽光発電は、FITと呼ばれる国が買取価格と期間を保証する制度を利用したものが主流でしたが、買取に要する費用は再エネ負担金という形で国民に転嫁されることが課題でした。しかし、本事業では従来のFITを利用しないため、国民負担を発生させずに再エネの普及が可能になります。

富士テクは「クリーンエネルギーと自然との共生」を理念に掲げ、再生可能エネルギー専門の用地開発事業者として、発電所の用地開発・設計・施工・アフターメンテナンスまで一貫して行なっています。関東や東北を中心に約200メガワットの施工実績があり、現在、未施工で取得済み再エネ用地は280メガワット相当となります。今後も脱炭素化に向けて再エネの普及に貢献してまいります。

注1 発電事業者と電力需要家等が、再エネ電力の売買契約を締結し、需要地ではないオフサイトに導入された再エネ電力を需要家へ供給する契約

### 株式会社富士テクニカルコーポレーション

本社所在地 千葉県匝瑳市八日市場イ 201-1  
代表者 代表取締役社長 小川毅一郎  
事業内容 土地の仕入れ、太陽光発電所の施工・メンテナンス  
URL <https://fuji-technical.jp>

本件に関するお問い合わせ  
株式会社富士テクニカルコーポレーション 広報室  
TEL: 0120-73-7081 Mail: [koho@fuji-technical.com](mailto:koho@fuji-technical.com)



2023年11月21日

2023年12月12日（赤字下線部修正）

株式会社富士テクニカルコーポレーション

## 千葉県匝瑳市との共同提案が「脱炭素先行地域」に選定

千葉県匝瑳市は株式会社富士テクニカルコーポレーション（以下、富士テク）をはじめ、他17社の共同提案者と共に環境省事業「脱炭素先行地域（第4回）」への計画提案を行い、令和5年11月7日に選定されましたのでお知らせいたします。

匝瑳市は農地、公共施設・民間施設・住宅などへの太陽光発電設備導入などをはじめ、“日本有数の植木のまち”である特徴を生かし、植木産業から排出される未活用の植木剪定枝を地域バイオマス燃料として活用する他、バイオ炭を製造して土壌改良剤として活用します。

本事業を通して、営農型ソーラーシェアリングによる売電収入などで新たな収入源を確保し、農業者の高収益化や新規就農者の確保などを図ります。また、「ソーラーシェアリング・アカデミー」を開講して他自治体や市民などに営農型ソーラーシェアリングのノウハウなどを共有し、交流・関係人口の増加などを図ります。

富士テクは、「クリーンエネルギーと自然との共生」を理念に掲げ、太陽光発電所の開発・設計・施工・アフターメンテナンスまで一貫して行なっています。

関東や東北を中心に約200MWの施工実績があり、2030年までに400MWの再エネ開発を計画しています。

富士テクは、脱炭素社会の実現に向け、匝瑳市をはじめ共同提案者と連携・協力して参ります。

脱炭素先行地域とは

2030年度までに民生部門（家庭部門及び業務その他部門）の電力消費に伴うCO2排出実質ゼロを実現するとともに、運輸部門や熱利用等も含めてそのほかの温室効果ガス排出削減についても、わが国全体の2030年度目標と整合する削減を地域特性に応じて実現する地域です。

本件に関する資料

[脱炭素先行地域選定結果（第4回）について](#)

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

株式会社富士テクニカルコーポレーション

広報室 広報係 林

Tel : 0120-73-7081 Mail : koho@fuji-technical.com